

カボチャの重さ当て

10月31日は古代アイルランドのケルト人にとっては収穫祭の日に当たり All Hallows Eve(オールハロースイブ)が転じてハロウィンと呼ばれるようになりました。この日に使う魔除けのランタンは、本来カブを使っていたのが、アメリカでこの行事が広まった際に手に入りやすいカボチャに変わったようです。

そのハロウィンを前に、カボチャの重さ当てを今年も行いました。巨大なお化けカボチャを使いたかったのですが、上手く育たず、普通サイズのエビスカボチャを公園内で育てました。



作業ヤード内の斜面地に植えたエビスカボチャは、順調に生育し、たくさんの花を咲かせましたが、雄花が多く、カボチャに育つ雌花はかなり少ない状況で気をもみました。

大きく育てる目的で3個のカボチャ以外は摘花してみましたが、普通サイズで成長は止まってしまいました。

一つだけでは寂しかったので、3個をまとめて重さを当てもらうことにしました。しかし、どれもが八百屋などに並んでいるサイズのカボチャなので、当選者は多数になり、抽選で選ぶことになるかと考えていました。



3個の合計は、4.4kgでした。10月2日から始めたイベントには、17日間で70名の方に参加いただきました。しかし、予想に反して正解した方はなく、4.0kgが最も近い値でした。お化けカボチャをイメージした80kgという回答もありました。来年は、お化けカボチャを展示できるよう努めたいと思います。